

はじめに

本市は、大阪都心部から20km圏に位置し、自然環境や歴史的環境に恵まれているとともに、JRと京阪電鉄の2本の軌道がクロス状に走り、通勤通学等の利便性が高いことなどから住宅都市として発展してきました。今後も、このような豊かな自然環境などを活かしながら、住環境整備を図り、いつまでも住み続けられる魅力あるまちづくりを進めて行くこととしております。

21世紀を歩み始めた今日、本市においても高齢化が進展し、平成22年(2010年)には高齢化率が約18%となるなど、本格的な高齢社会が到来すると予測されております。また、障害者が障害をもたない人と同じように社会参加できる「ノーマライゼーション」の考え方も広まってきています。こうした中で、本市では、高齢者や障害者などが自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境の整備を図る一環として、平成12年(2000年)に施行された「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」に基づきJR河内磐船駅及び京阪河内森駅周辺地区を重点整備地区とし、バリアフリーの基本構想を策定致しました。

今後は、この基本構想をもとに重点整備地区の鉄道駅や道路などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に進め、みんなが自由に移動できる環境整備を推進して参る所存でございますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この基本構想の策定にあたりましてご尽力賜りました連絡協議会の委員の方々をはじめ、タウンウォッチングに参画頂きました多くの方に衷心より感謝の意を表します。

平成14年3月

交野市長 北田輝雄